

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 人間関係とコミュニケーション | 問いかける技術 (1)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

問いかける技術 (1)

コミュニケーションといえば、自分が「話す」ことや単に「聞く」ことに意識が向いてしまいがちだが、「問いかける」という行為は、時としてたった一言で場の空気を変え、人の視点や考え方を換え、相手との関係を変える力を持つ。

よいリーダーもよいコーチも、指示・命令する以上に、いつも相手に問いかけてしているものだ。

もっとも、ただやみくもに質問すればいいわけではない。

よい人間関係の構築に役立つのは「謙虚に問いかける」ことだ。

「謙虚に問いかける」は、相手の警戒心を解くことができる手法であり、自分では答えが見いだせないことについて質問する技術であり、その人を理解したいという純粋な気持ちをもって関係を築いていくための流儀である。安全を第一に考えなければならない危険を伴う業界では特に、良好な人間関係と信頼度の高いコミュニケーションが人事の垣根を越えて組織全体で共有されていることが肝要である。

頻発しないまでもきわめて深刻な事態を招く事故、そこに共通しているのは、現場の従業員たちは事故を防ぐことができた、あるいは被害を最小限にとどめることができたであろう情報を持っていたにもかかわらず、それが組織の上層部まで届かなかったか、あるいは誰も聞く耳を持たなかつたか、握りつぶされてしまったということである。

リーダーたる者は賢くなければならず、はっきりと方針を決め、価値観を明確に示すべきだ。

しかし一方で、人の上に立つ者こそ、「謙虚に問いかける」ことが必要だ。

なぜかという、物事が複雑に絡み合い、人が協力し合わなければ進められない仕事こそ、信頼に基づく良好な人間関係が欠かせないからだ。

それなくしては、部下が安心して上司とコミュニケーションをとることはできない。

現場から上に向かう円滑なコミュニケーションがあってはじめて組織は力を発揮し、安全を確保することができる。

(つづく)

「問いかける技術」エドガー・H・シャイン著

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.